

# 御嶽山噴火に係る関係省庁災害対策会議（第2回）

## 議 事 次 第

日時：平成26年9月28日（日）13：00～  
場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

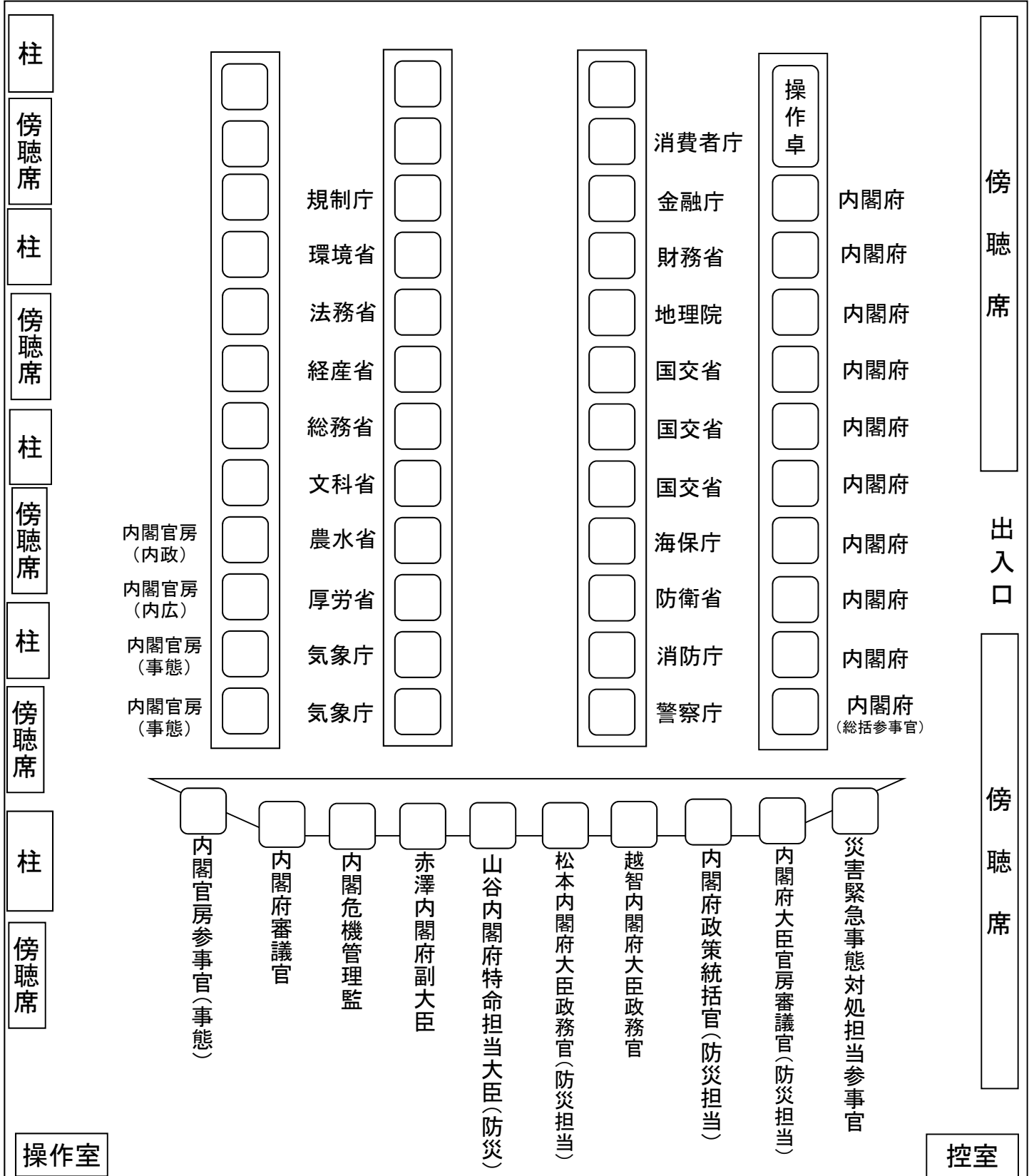
1. 山谷内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. 現地とのテレビ会議
3. 今後の活動の見通しについて
4. 各省庁の対応状況について
5. その他

# 御嶽山噴火に係る関係省庁災害対策会議(第2回)

## 配席図

平成26年9月28日(日)13:00~

中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室



# 1 気象庁

## 御嶽山の噴火状況等について

平成26年9月28日  
12時15分現在  
気象庁

### 1. 火山活動の状況(9月28日12時現在)

- ・御嶽山では、本年9月10日から11日にかけて火山性地震が一時的に増加したものの、その後火山性地震は減少していた。
- ・9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測したため、噴火警戒レベル3(入山規制)を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。噴火は現在も継続している。
- ・御嶽山で噴火が発生したのは平成19年(2007年)3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと。
- ・9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。
- ・9月28日中部地方整備局の協力で実施した上空からの観測によると、御嶽山山頂付近に北西から南東方向に伸びる火口列が見られ、複数の火口から白色の噴煙が勢いよく火口上1000メートルまで上昇するのが認められ、ときおり火山灰交じりの薄灰色の噴煙が認められました。

### 2. 気象の見通し(9月28日12時現在)

- ・御嶽山の山頂付近では、3メートル程度の北よりの風が吹いていると見られる。今日28日は、夜まで、2～3メートル程度の北よりの風が続く見込み。
- ・長野県南部、岐阜県飛騨地方の天気は、今日28日、明日29日共に、高気圧に緩やかに覆われて概ね晴れるが、朝晩は湿った空気の影響で雲が多い見込み。

### 3. 気象庁がこれまでに取った措置(9月28日12時現在)

- ・御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。
- ・噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地方気象台より適宜実施。
- ・気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施(長野

- 地方気象台:9月27日13時55分～23時頃、気象庁:9月27日15時40分～)
- ・降灰の拡がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を実施(9月27日～)
  - ・火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)
  - ・御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知(9月27日)。
  - ・長野県の災害対策本部会議に出席(9月27日～)
  - ・長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象支援資料を提供(9月28日5時～1日2回の提供)
  - ・国土交通省中部地方整備局のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午前)

#### 【噴火警報等の発表状況】

○9月11日～16日 火山の状況に関する解説情報を3回発表し、火山性地震が増加していること、今後の火山活動の推移に注意することを呼びかけた。

○9月27日12時00分～ 噴火に関する観測報を随時発表し噴火が発生していることを知らせる

○9月27日12時02分～ 航空路火山灰情報を発表し、航空機に対する情報を提供

○9月27日12時36分 噴火警報(火口周辺警報)を発表し、周辺の市町村・住民に警戒を呼びかける

#### ・噴火警戒レベル

レベル1(平常) → レベル3(入山規制)

※御嶽山の噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。

#### ・警戒対象市町村

長野県：王滝村、木曾町

岐阜県：高山市、下呂市

#### ・防災上の警戒事項

①火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒が必要

②風下側では4キロメートル以遠も含めて降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要

③爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要

○9月27日13時35分～ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示

○9月27日16時～ 火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表

#### 4. 気象庁の今後の対応(9月28日12時現在)

- ・陸上自衛隊のヘリに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午後)
- ・気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施(9月28日)
- ・御嶽山の火山活動等について検討を行うため、火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し(9月28日16時)、見解を発表(同日19時頃)

## 御嶽山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

御嶽山では、昨日（27日）11時52分頃、噴火が発生しました。山頂付近の噴火時の状況は視界不良のため不明でしたが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3 km を超えたことを観測しました。

昨日（27日）12時36分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引き上げました。

御嶽山では、火口から4 km 程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

### 活動状況

#### ・27日の噴火（図2～6、表1）

昨日（27日）11時52分頃、噴火が発生しました。山頂付近の噴火時の状況は視界不良のため不明でしたが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3 km を超えたことを観測しました。この噴火の直前の11時41分頃から連続した火山性微動が発生しています。田の原観測点（山頂の南東約3 km）の傾斜計<sup>1)</sup>で、微動の発生直後の11時45分頃から山上がりの変化を、その約7分後に山下がりの変化を観測しました。山上がりから山下がりの変化に変わった頃に噴火が始まったものとみられます。

本日（28日）6時現在も噴火及びそれに伴う微動が継続しており、噴煙の高さは火口縁上約800 m で東に流れています。

火山性地震は、噴火後多い状態となっています。

気象庁で降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が確認されました。

GNSS<sup>2)</sup>連続観測では特段の変化はみられていません。

#### ・噴火に至るまでの活動の経過（図6～9、表1）

御嶽山では、2007年3月後半にごく小規模な噴火が発生しましたが、その後静穏な状態が継続していました。9月10日から11日にかけて、剣ヶ峰山頂付近の火山性地震が増加しましたが、その後次第に減少していました。

### 精査の結果、噴火の発生時刻を11時53分から11時52分に修正しました。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1マイクロラジアンは1 km 先が1 mm 変化する量です。

2) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図25000（行政区・海岸線）』『数値地図25000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平23情使、第467号）。

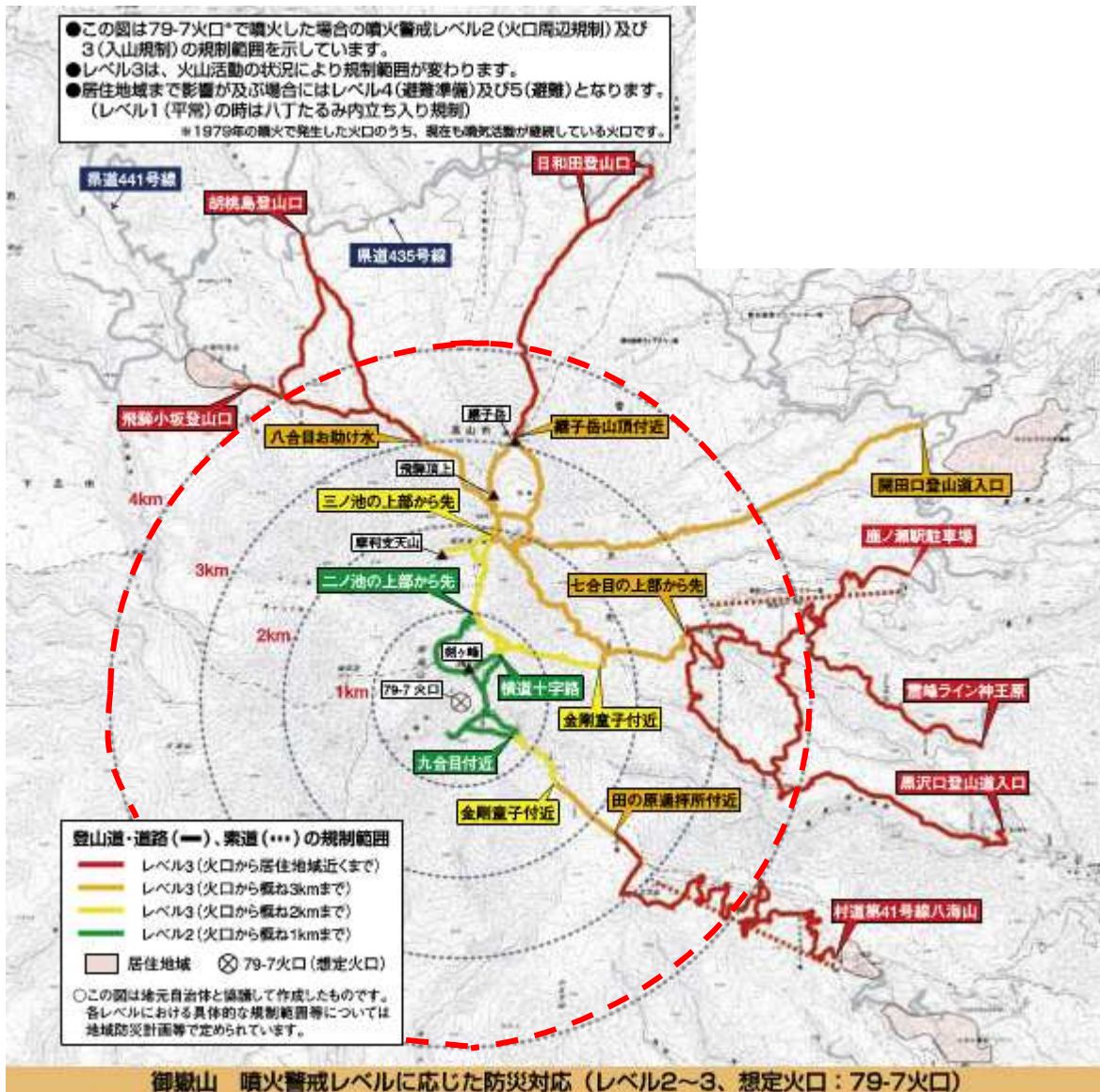


図1 御嶽山 規制範囲図  
 ・赤点線が山頂火山口から4kmの範囲



図 2 御嶽山 噴煙の状況（中部地方整備局のカメラによる。2014 年 9 月 27 日 11 時 56 分）  
・山の南側斜面を噴煙が 3 km を超えて流下しました。



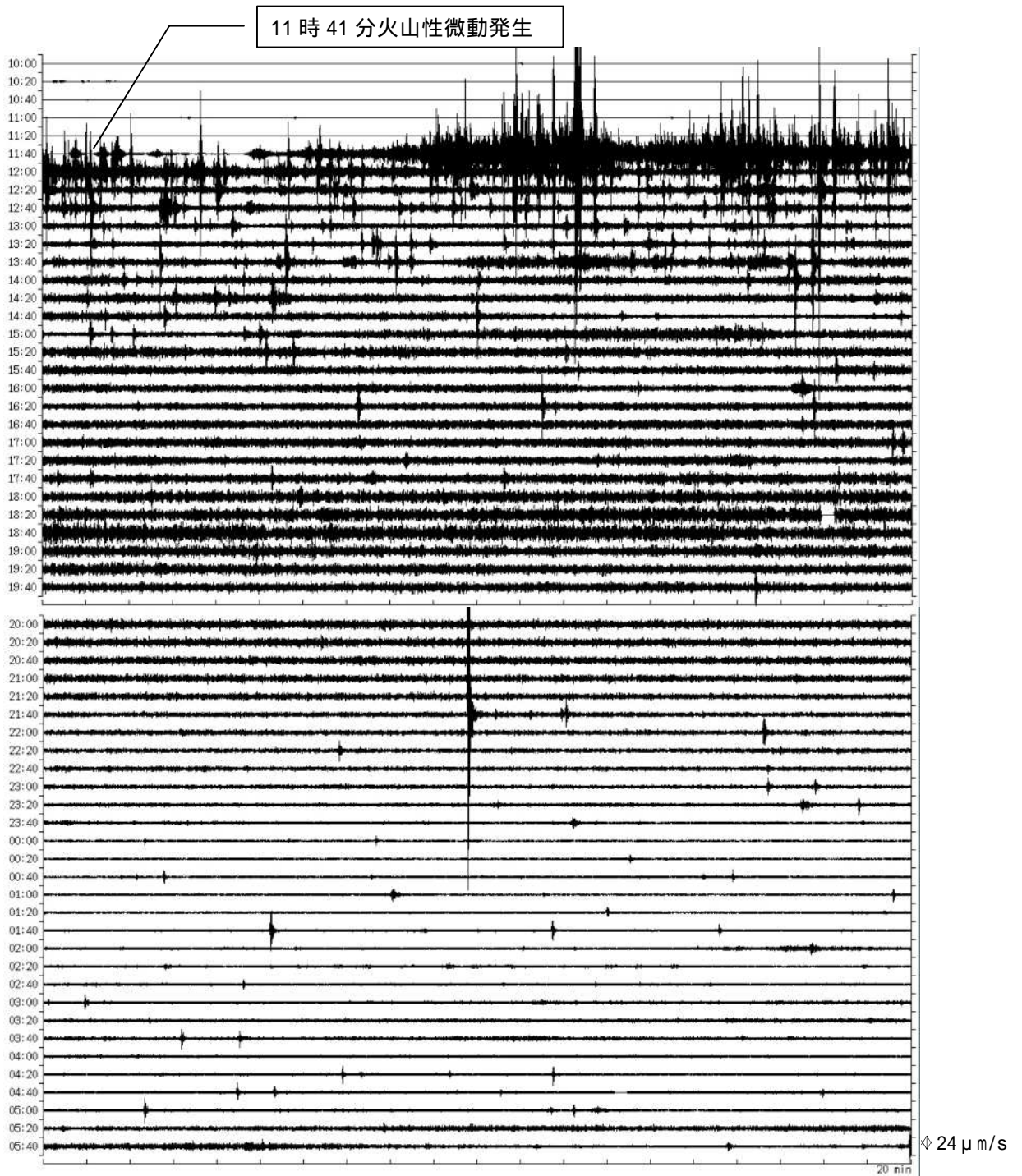


図 3 御嶽山 地震及び微動の発生状況

(2014 年 9 月 27 日 10 時 00 分 ~ 9 月 28 日 06 時 00 分)

- ・火山性微動が 11 時 41 分に発生し、振幅が徐々に小さくなりながら継続しています。

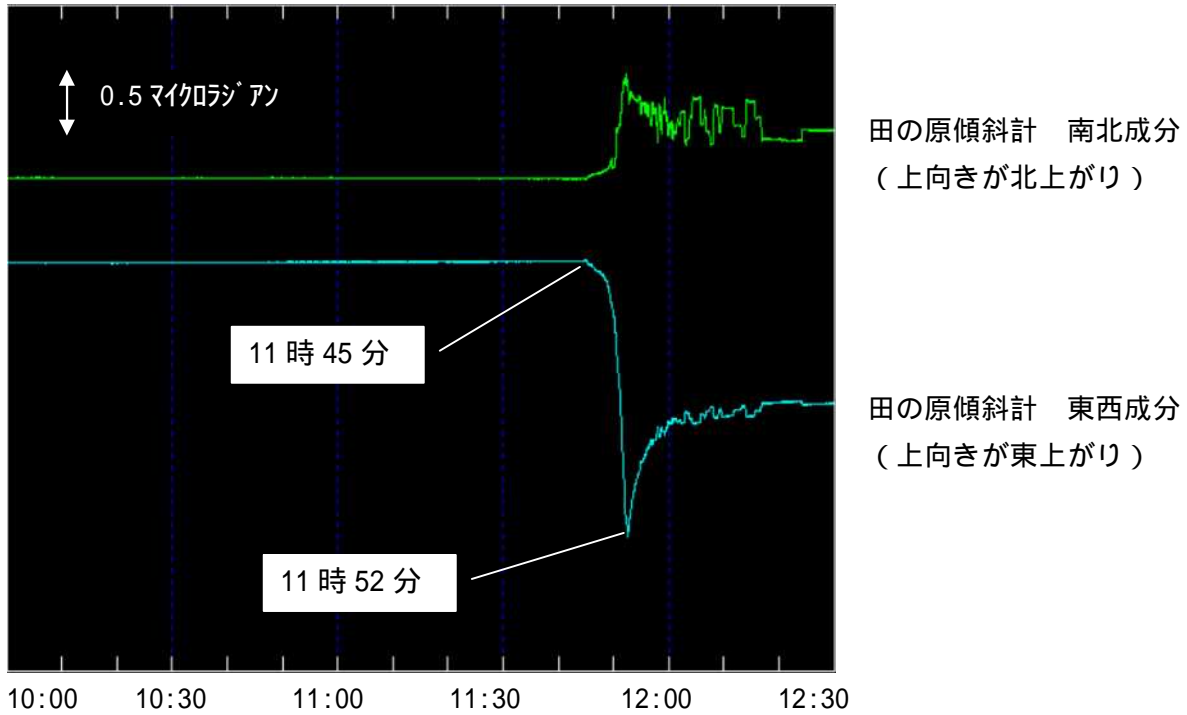


図 4 御嶽山 噴火発生時の田の原観測点（南東約 3 km）の傾斜変化の状況  
・火山性微動の発生に伴い北西上がり（山上がり）の変化を、その約 7 分後に南東上がり（山下がり）の変化を観測しました。南東上がりの変化には火山性微動等による変動も含まれています。

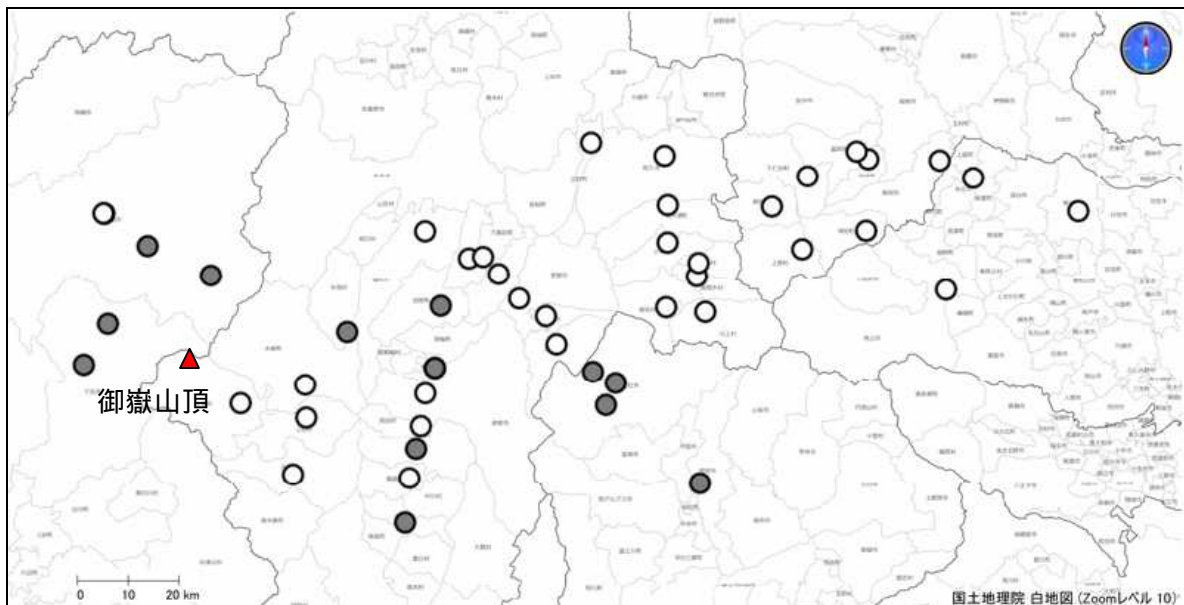


図 5 気象庁の聞き取り調査による降灰の状況（9 月 27 日 21 時現在）  
降灰あり、 降灰なし

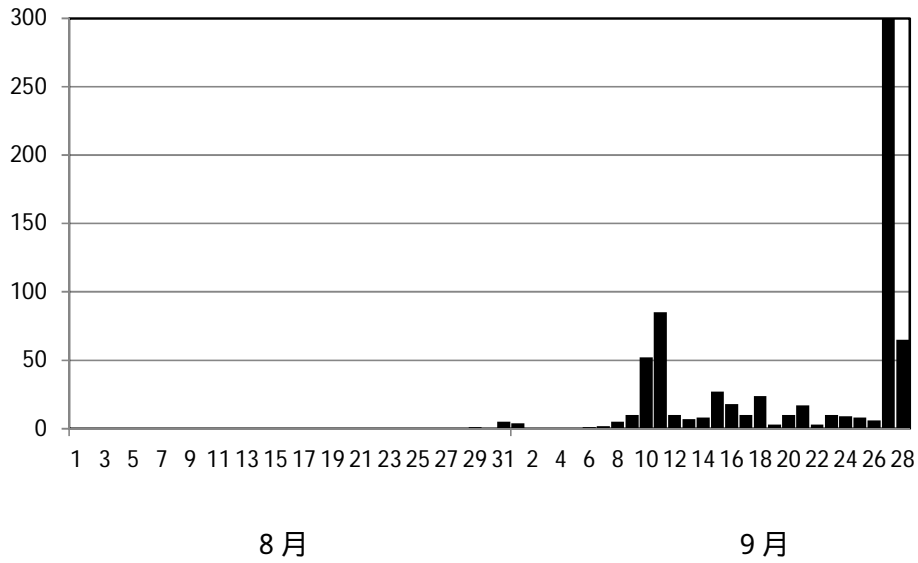


図6 御嶽山 日別地震回数(2014年8月1日~9月28日06時(速報値含む))

表1 御嶽山 地震回数表(速報値含む)

左 日別回数(2014年8月1日~9月28日06時)

右 時間別回数(2014年9月27日~9月28日06時)

日	回数
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0
18	0
19	0
20	0
21	0
22	0
23	0
24	0
25	0
26	0
27	0
28	0
29	1
30	0
31	5

日	回数
1	4
2	0
3	0
4	0
5	0
6	1
7	2
8	5
9	10
10	52
11	85
12	10
13	7
14	8
15	27
16	18
17	10
18	24
19	3
20	10
21	17
22	3
23	10
24	9
25	8
26	6
27	360
28	65
29	
30	

06時まで

時	回数
0	0
1	1
2	2
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0
8	3
9	0
10	0
11	82
12	159
13	31
14	23
15	11
16	7
17	16
18	2
19	1
20	1
21	7
22	4
23	10

時	回数
0	20
1	10
2	7
3	10
4	10
5	8

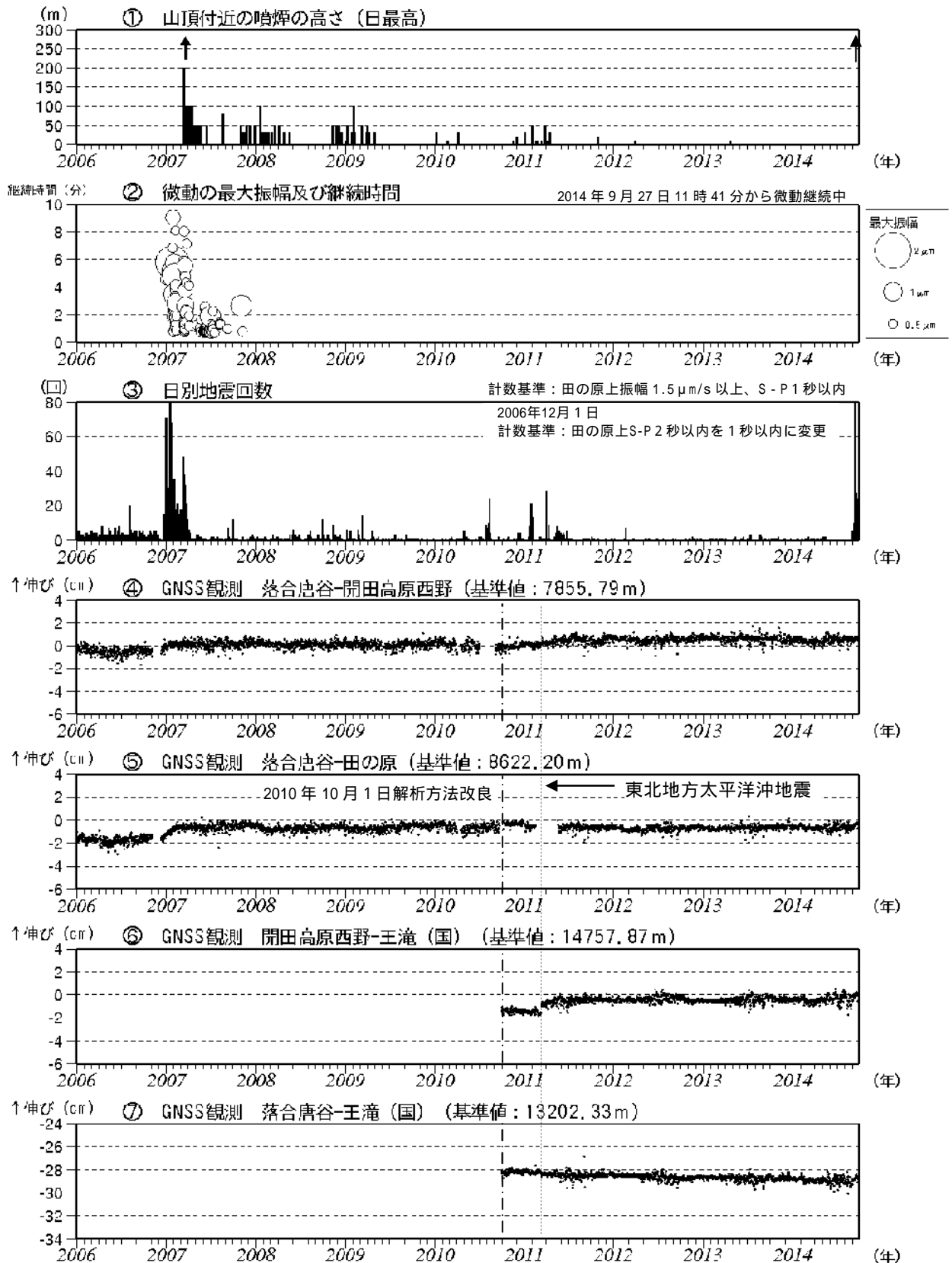


図7 御嶽山 火山活動経過図（2006年1月1日～2014年9月27日）

定時観測（09時・15時）による噴煙の高さ（日最高）

矢印は噴火を示します。

～ GNSS連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

には東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）に伴うステップ状の変化がみられます。

2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

図中 ～ は図9のGNSS基線 ～ に対応します。グラフの空白部分は欠測を示します。

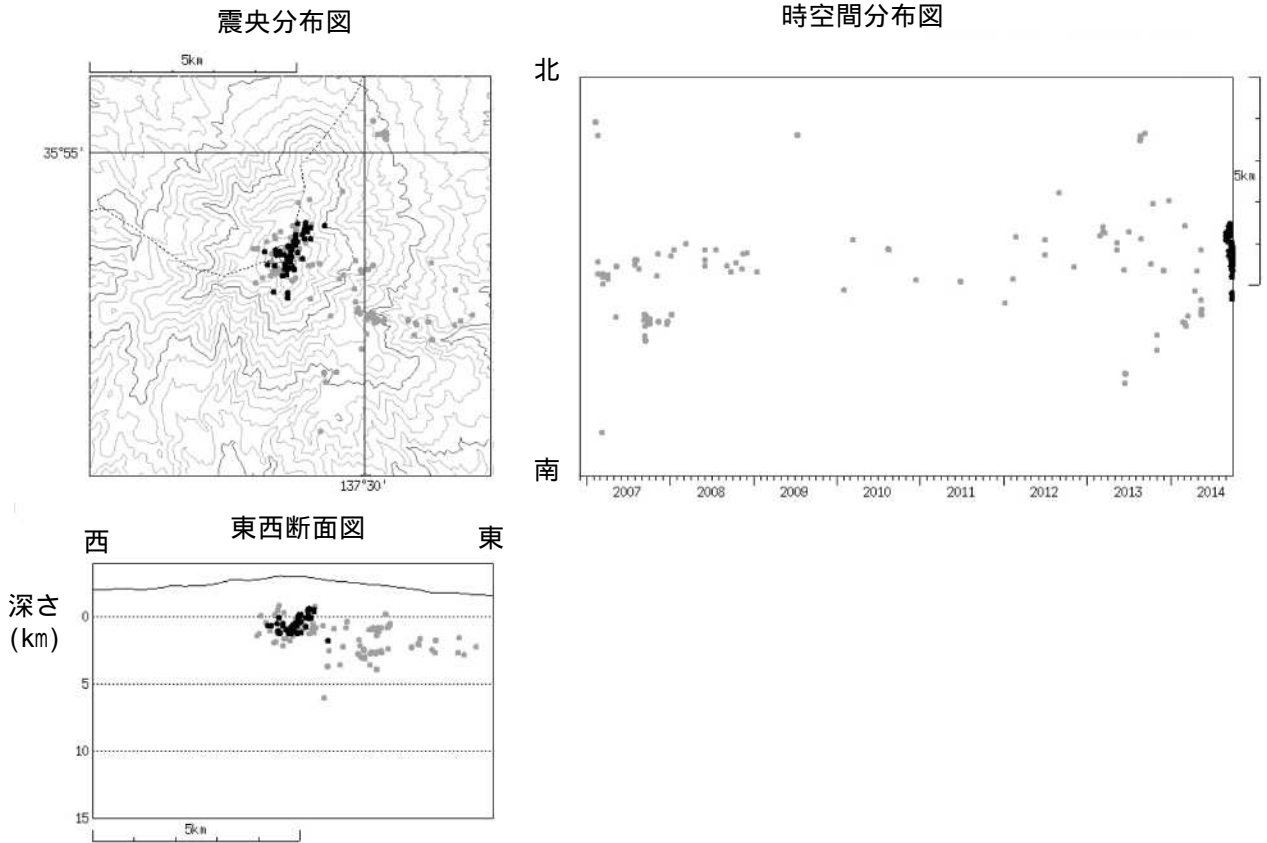
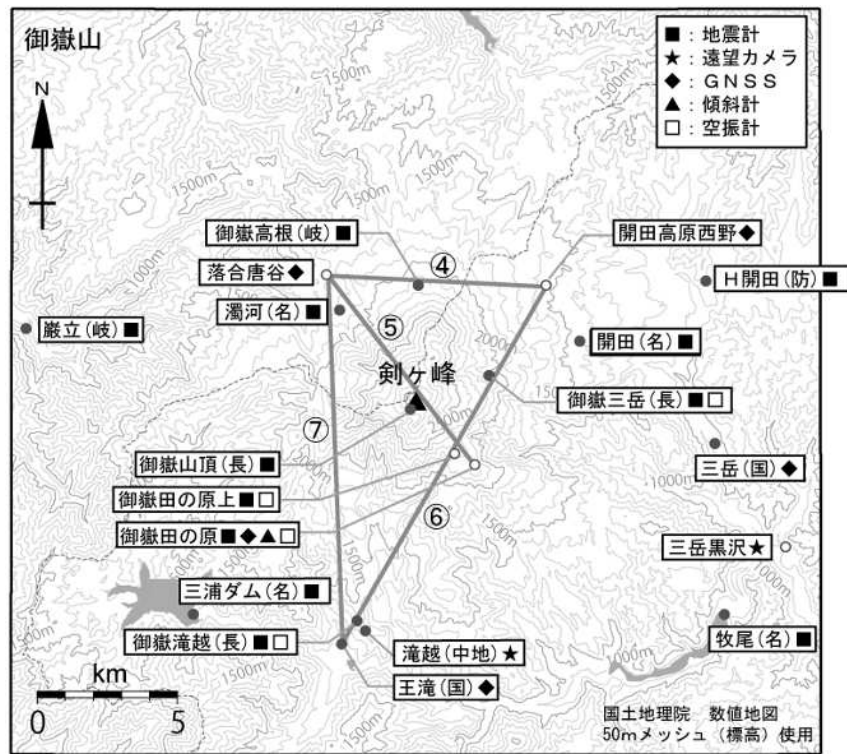


図 8 御嶽山 震源分布図（2006 年 12 月 1 日～2014 年 9 月 27 日）  
 : 2006 年 12 月 1 日～2014 年 7 月 31 日      : 2014 年 8 月 1 日～9 月 27 日



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院、(中地) : 中部地方整備局、(防) : 防災科学技術研究所、(名) : 名古屋大学、  
 (長) : 長野県、(岐) : 岐阜県

図 9 御嶽山 観測点配置図

図中の GNSS 基線 ~ は図 7 の ~ に対応しています。

加サノカ化ツ1 キヨウ

(STX)

43 03 00 140928120139 C11 1409281200 N0012 F/ S6620 M312 L33// 9999

火山名 御嶽山 火山の状況に関する解説情報 第12号  
平成26年9月28日12時00分 気象庁地震火山部

\*\*\* (本文) \*\*\*

<火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制) が継続>

## 1. 火山活動の状況

御嶽山では、昨日 (27日) 11時52分頃に噴火が発生しました。山頂付近の噴火時の状況は視界不良のため不明でしたが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えたことを観測しています。

27日11時41分頃から発生している火山性微動は現在も継続しています。

本日 (28日) 11時45分現在も噴火は継続しており、噴煙の高さは火口縁上約300メートルで南に流れています。

本日 (28日) 午前6時頃から中部地方整備局の協力で実施した上空からの観測によると、御嶽山山頂に北西から南東にのびる火口列がみられ、複数の火口から白色の噴煙が勢いよく、火口上1000メートル (高度4000メートル) まで上昇するのが認められ、ときおり火山灰混じりの薄灰色の噴煙が認められました。

また、ヘリコプターの機内では、硫化水素臭が認められ、二酸化硫黄臭は感じられませんでした。

27日11時から28日11時までの火山性地震の回数 (速報値) は以下のとおりで、火山性地震の多い状態が続いています。

		火山性地震
9月27日	11時から24時	353回
9月28日	00時から01時	20回
9月28日	01時から02時	10回
9月28日	02時から03時	7回
9月28日	03時から04時	10回
9月28日	04時から05時	10回
9月28日	05時から06時	8回
9月28日	06時から07時	9回
9月28日	07時から08時	8回
9月28日	08時から09時	6回
9月28日	09時から10時	2回
9月28日	10時から11時	1回

## 2. 防災上の警戒事項等

御嶽山では、火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石 (火山れき) が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

今後、火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

<火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制) が継続>

(ETX)



## お 知 ら せ

平成 26 年 9 月 28 日  
長野地方気象台  
岐阜地方気象台

### 御嶽山の噴火に伴い「気象支援資料」の提供について

御嶽山の噴火に伴い、長野地方気象台と岐阜地方気象台は共同で、「気象支援資料『御嶽山の上空の風と周辺の天気の見通し』」を提供します。

この資料は、災害応急活動等の支援を目的とするもので、1日2回、朝07時と夕方17時の定時に提供します。この時刻以外に御嶽山の周辺地域に警報や注意報が発表された場合及び、予報が修正された場合には、臨時に発表した支援資料をご利用いただくようお願いします。

なお、提供の終了については、今後の御嶽山の火山活動状況を考慮して決定します。

本件に関する問合せ先：

長野地方気象台 電話 026-232-2034

岐阜地方気象台 電話 058-271-4107

### 御嶽山上空の風と周辺の天気予想

平成26年9月28日 7時  
長野地方気象台  
岐阜地方気象台

● 風の予想(御嶽山の上空、高度約3000m)

	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風向	北北西	北	北北東	北北東	北東	西南西	西	西	西	西	西北西	西北西	西北西	西北西
風速	2 m/s	3 m/s	3 m/s	2 m/s	1 m/s	1 m/s	3 m/s	3 m/s	3 m/s	4 m/s	5 m/s	6 m/s	6 m/s	10 m/s
風	○	↓	↙	○	○	○	→	→	→	→	↘	↘	↘	↘

※風凡例 0~2m/s: ○ 3~5m/s: ↘ 6~9m/s: ↙ 10~19m/s: → 20~29m/s: ↘ 30m/s以上: ↘

● 御嶽山周辺の風及び天気(長野県側)

	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風向	北	北北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	西南西	西	北北西	北東	北東
風速	2 m/s	3 m/s	3 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	2 m/s	1 m/s	1 m/s	1 m/s	2 m/s	2 m/s	1 m/s
風	○	↙	↙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
天気														
	9月28日	高気圧に覆われ晴れますが、夜は曇りが広がりやすいでしょう。												
9月29日	引き続き、高気圧に覆われ晴れますが、朝晩を中心に曇りが広がりやすいでしょう。													
降水量予想	雨量: 28日06時から29日06時までの予想降水量:0ミリ													
	ピーク: 28日から29日の1時間最大降水量:0ミリ													

● 御嶽山周辺の風及び天気(岐阜県側)

	9月28日						9月29日							
	09時	12時	15時	18時	21時	24時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24時
風向	北北東	北	北北東	北北東	北北東	南東	南東	北東	北北東	北北東	北北東	北北東	北北東	北北東
風速	4 m/s	3 m/s	3 m/s	3 m/s	1 m/s	1 m/s	1 m/s	3 m/s	5 m/s	4 m/s	3 m/s	2 m/s	1 m/s	
風	↙	↓	↙	↙	○	○	○	↙	↙	↙	↙	○	○	
天気														
	9月28日	高気圧に覆われ晴れますが、夜は曇りが広がりやすいでしょう。												
9月29日	引き続き、高気圧に覆われ晴れますが、朝晩を中心に曇りが広がりやすいでしょう。													
降水量予想	雨量: 28日06時から29日06時までの予想降水量:0ミリ													
	ピーク: 28日から29日の1時間最大降水量:0ミリ													

● 御嶽山周辺に関わる警報・注意報の状況または発表の見通し

- ・ 長野県の木曾地域: なし
- ・ 岐阜県の飛騨南部: なし
- 飛騨北部: なし



## 御嶽山の火山活動に係る被害状況等について（第3報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

平成26年9月28日（日）12時00分  
 消防庁災害対策本部  
 ※下線部は前回からの変更箇所

## 1 火山の状況（気象庁情報）

- ・9月27日11時53分頃、御嶽山で噴火が発生した。
- ・山頂火口の状況は視界不良のため不明だが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3kmを超えるのを観測した。
- ・今後も居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生すると予想される。
- ・山頂火口から4km程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒が必要。
- ・気象庁は、9月27日12時36分、噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引上げ。また、同日13時35分に降灰予報を発表した。

## 2 被害の状況

## (1) 人的被害

## 長野県

負傷者 30名（重症1名、中等症9名、軽症20名）行方不明者 45名

※負傷者は、病院に搬送された方の情報を基に集計したものであり、行方不明者は、安否の確認を求められた人数を基に集計したものであるため、今後も変動し得る数字である。

## 岐阜県

負傷者 7名（重傷2名、軽傷5名）

## (2) 建物被害

確認中

## 3 地方公共団体における災害対策本部等の設置状況

長野県 9月27日 13時20分 警戒対策本部設置  
 → 27日 14時10分 災害対策本部へ移行  
 岐阜県 9月27日 13時15分 火山災害警戒本部設置

## 4 消防機関の活動

## (1) 地元消防機関の活動状況

長野県：木曾広域消防本部が約60名体制で活動。

長野県防災ヘリコプター1機が救急搬送等に備え、松本空港に待機。

木曾町消防団及び王滝村消防団が約20名体制で活動。

岐阜県：下呂市消防本部が約10名体制で活動。

岐阜県防災ヘリコプター1機が救急搬送等に備え、濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンターに待機。

下呂市消防団幹部が下呂市災害対策本部で活動。

## (2) 県内応援消防本部の活動状況

長野県：県内13本部（木曾広域消防本部を除くすべての消防本部）が約100名体制で活動。

岐阜県：岐阜市消防本部及び高山市消防本部が約10名体制で活動。

(3) 緊急消防援助隊

- 平成26年9月27日20時30分、長野県知事から消防庁長官に対して、緊急消防援助隊の派遣要請。
- ただちに消防組織法第44条第1項に基づき、消防庁長官から火山性ガス検知資機材（LCD3.3）を保有する高度救助隊及び山岳救助隊について、愛知県、静岡県、東京都及び山梨県の4都県に対して、出動要請。
- 愛知県、静岡県、東京都及び山梨県4都県合計約200名体制で活動。

(内訳)

東京都隊約60名、山梨県約50名、静岡県隊約40名、愛知県約50名

(参考)

- ・指揮支援隊として、長野県庁で東京都隊1隊3名、木曾広域消防本部で愛知県隊1隊5名が活動。
- ・陸上隊は、進出拠点（道の駅 木曾市場）に28日4時に到着した後、各災害現場において活動。
- ・東京消防庁ヘリコプター（消防庁ヘリ/ヘリサット搭載）が情報収集活動を実施。

5 消防庁の対応

- |       |        |   |
|-------|--------|---|
| 9月27日 | 14時30分 | 応急対策室長を長とする災害対策室を設置   |
|       | 16時40分 | 御嶽山噴火に係る関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席  |
|       | 19時28分 | 関係省庁局長級会議に消防庁次長が出席  |
|       | 20時20分 | 国民保護・防災部長を長とする災害対策本部を設置   |
|       | 20時30分 | 長野県知事から消防庁長官に対して、緊急消防援助隊の派遣の要請  |
|       |        | 同時刻に消防組織法第44条第1項に基づき、消防庁長官から火山性ガス検知資機材（LCD3.3）を保有する高度救助隊及び山岳救助隊について、愛知県、静岡県、東京都、山梨県の4都県に対して出動要請 |
| 9月28日 | 6時00分  | 緊急消防援助隊の活動調整等のため、消防庁職員1名を長野県に派遣   |

問い合わせ先 消防庁災害対策本部 五十嵐・近藤・稲勝・牧原 TEL 03-5253-7512 FAX 03-5253-7537
---

## 1. 経緯

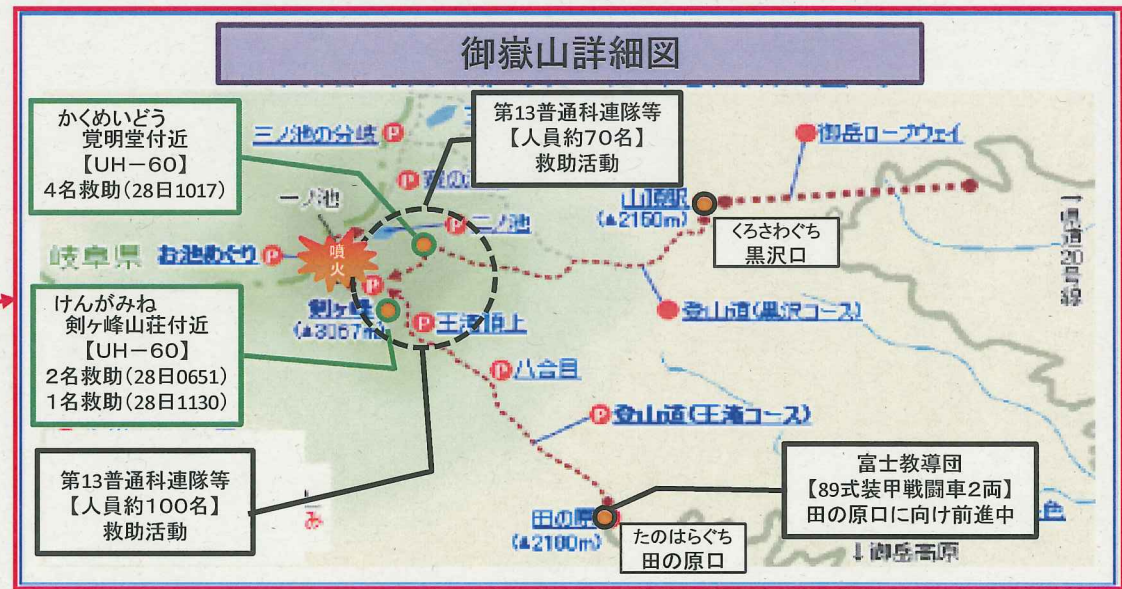
平成26年9月27日（土）11時53分頃、御嶽山で噴火が発生。同日14時31分、長野県知事から陸上自衛隊第13普通科連隊長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

## 2. 対応（26.9.28 1215現在）

- ◇ 派遣規模 人員約270名、車両約75両（89式装甲戦闘車4両、73式装甲人員輸送車1両を含む）、航空機7機
  - 第13普通科連隊(松本)：人員約160名、車両約40両
  - 第12ヘリコプター隊(相馬原、北宇都宮)：航空機6機
  - 第12偵察隊(松本)：人員約20名、車両約10両
  - 第2普通科連隊(高田)：人員約80名、車両約20両
  - 東部方面航空隊(立川)：航空機1機
  - 富士教導団(富士)：人員約10名、車両5両

### ◇ 活動内容 航空偵察（映像配信）、人命救助

- 山頂付近一帯の航空偵察を実施。
- 黒沢口（人員約70名）及び田の原口（人員約100名）の両登山口より徒歩で山小屋等に向け前進し、到着後救助活動を実施。
- UH-60によるホイスト吊り上げにより、けんがみね 剣ヶ峰山荘付近で3名、かくめいどう 覚明堂付近で4名をそれぞれ救助。



厚生労働省  
平成26年9月28日  
11時30分現在

## 御嶽山噴火に係る被害状況及び対応について 〔第3報〕

### 1 厚生労働省における対応等

・9月27日（土）

15時00分 厚生労働省情報連絡室設置

17時30分 大臣から2点指示

1. 関係地方自治体と連携し、状況の把握に努めること。
2. 被災者の人命救助のため、医療の提供に万全を期すこと。

### 2 DMAT 活動関係

- 長野県が EMIS を災害モードに切り替え（9/27 15:43）
- 岐阜県が EMIS を警戒モードに切り替え（9/27 18:05）
- 長野県から近隣5県に対し DMAT の派遣要請（9/27 20:00）
- 医政局 DMAT 事務局において、長野県や DMAT 隊員に対し、派遣要請等に係る総合支援を実施。
- DMAT の展開状況 （9/28 11:00）

長野県側の展開状況（活動場所別チーム数）

・ 長野県 DMAT 調整本部（長野県庁）	<u>3 チーム</u>
・ 長野県立木曾病院	<u>22 チーム</u>
・ 信州大学医学部附属病院	<u>3 チーム</u>
・ 黒沢口御岳ロープウェイ口	<u>3 チーム</u>
・ <u>御岳八海山口八海山荘</u>	<u>1 チーム</u>
	<u>計 32 チーム</u>

岐阜県側の展開状況（活動場所別チーム数）

・ 濁河温泉登山口	1 チーム
-----------	-------

## 御嶽山の火山活動に関する国土交通省の対応状況

### 1. 噴火の概要（気象庁）

- 27 日 11:52 頃 噴火 平成 19 年の 3 月下旬以来。
- 27 日 12:36 火口周辺警報、レベル 1→3（入山規制）に引き上げ。平成 20 年（レベル導入）以来。
- 火口から周辺 4km 付近内では噴石に注意。
- 27 日 14:30 気象庁記者発表。
- 27 日 気象庁の聞き取り調査によると、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町はぎわらちょうから東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰。
- 28 日 7:00 現在、上空 3000m では北の風 5m/s 程度、夜まで北の風 1~3m/s 程度が続く見込み。
- 今後の天気は、28 日、29 日共に概ね晴れるが、朝晩は雲が多い。

### 2. 国交省の対応—被災者（入山者）の救助に総力

#### ① 救助、下山支援

【9/27(土)】

- 15:15 官邸リエゾンを派遣。

- 19:10 より濁河温泉（下呂市側）の下山道にぎりごにて国交省の照明車両による徒歩下山者支援を実施。

【9/28(日)】

- 災害対策用機械 13 台が稼働中。

- ・3:00 時点で照明車両 5 台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働中。
- ・木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車 3 台、散水車 2 台で実施中。
- ・衛星通信車 2 台、Ku-SAT1 台によりヘリ画像等を通信中。

- リエゾン 12 名派遣中（王滝村 2 名、木曾町 1 名、長野県庁 2 名、長野県木曾地方事務所 1 名、高山市 2 名、下呂市 2 名、岐阜県庁 2 名）。



## ②二次災害防止対策

【9/27(土)】

- 16:05 防災ヘリによる上空調査により、山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。(ヘリからの目視確認)
- 国総研・土研より砂防専門家3名を派遣し、土砂災害防止法に基づく、緊急調査を準備。

【9/28(日)】

- 5:45から防災ヘリによる緊急調査等を実施(砂防専門家3名、気象庁1名等)。
- 長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象支援資料を提供(5:00から1日2回の提供)。

## ③その他

- 長野県道1路線、木曾町道4路線、王滝村道1路線で入山規制に伴う事前通行規制を実施中。
- 27日13:35以降、気象庁から降灰予報を約6時間毎に発表している。
- 御嶽ロープウェイ運休中。
- おんたけ交通 バス2路線運休中。
- 気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報(ノータム)を発行(27日12:21)。
- 28日 欠航便情報2便(ジェットスター)。

## 3. 体制等について

本省：非常体制、国土地理院：非常体制、気象庁：非常体制  
 中部地整：非常体制、中部運輸局：注意体制  
 関東地整：注意体制、北陸信越運輸局：注意体制

## <会議等>

【9/27(土)】

- 14:25 太田大臣防災センター登庁(対策を指示)
- 14:40 第1回太田大臣、中部地整局長テレビ会議
- 15:43 第2回太田大臣、中部地整局長テレビ会議
- 16:40 関係省庁災害対策会議(第1回)
- 17:10 関係閣僚会議(太田大臣出席)

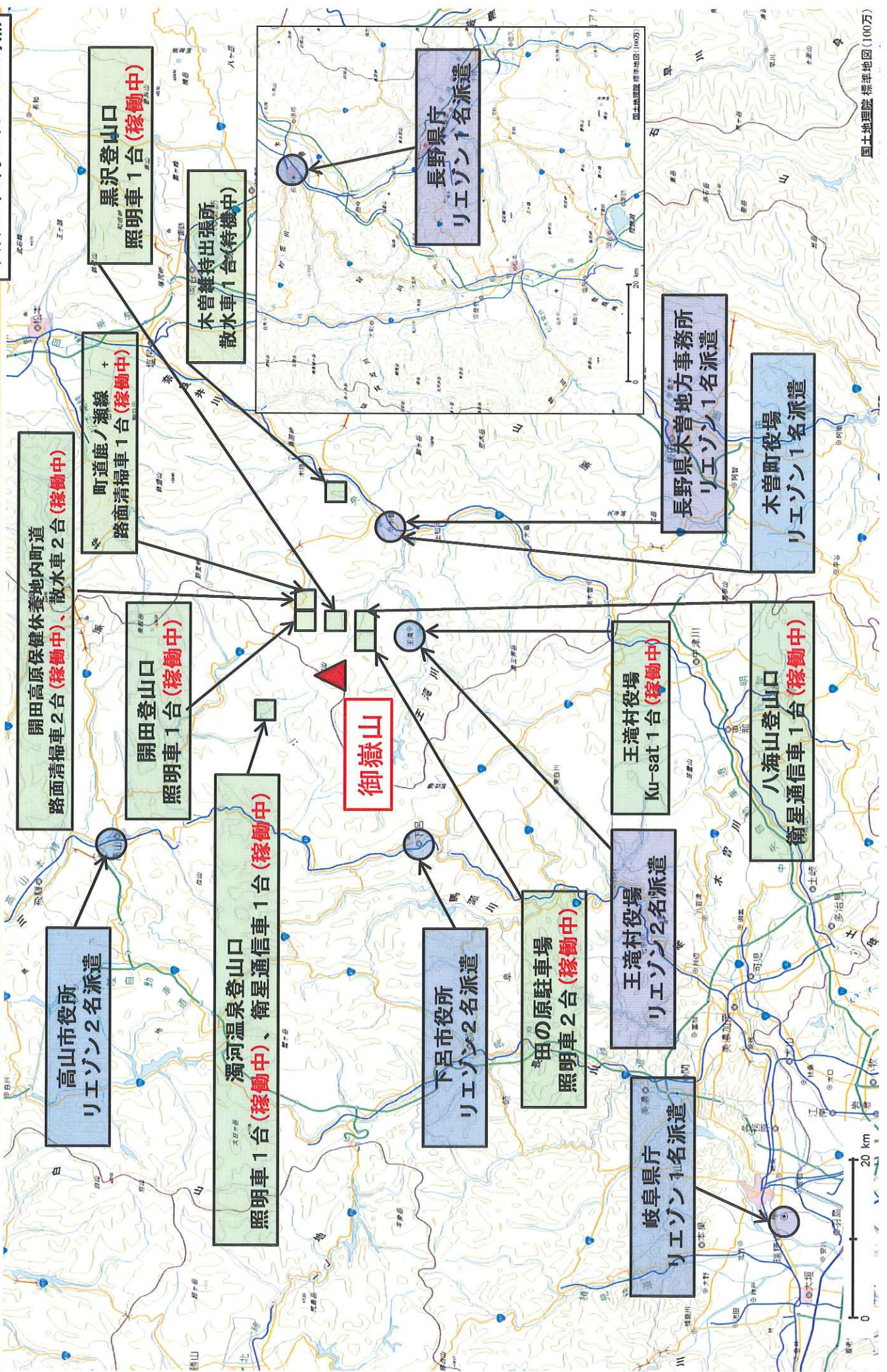
【9/28(日)】

- 10:30 御嶽山の火山活動に関する国土交通省関係局長等会議
- 13:00 関係省庁災害対策会議(第2回)



# ■御嶽山の噴火に伴うリエゾンおよび災害対策車両の派遣状況

国土交通省 防災センター  
平成26年9月28日 7:30時点



ω



平成26年9月28日  
国土交通省砂防部

## 救助活動等における土砂災害への警戒について

- 火山灰等が堆積した流域では、通常より少ない降雨で土石流が発生する可能性があります。
- このため、救助活動等に際しては、降雨に十分留意し、降雨時に溪流を横断したり、溪流沿いの登山道を使う場合は、土石流に十分留意すること。その際、水の濁りや水量が急激に変化する等、土石流の兆候があった場合には、溪流と直角方向にできるだけ高い位置に速やかに避難すること。
- 活動地点において降雨がなくても、流域の上流部で降雨がある場合が考えられるため、適宜、携帯端末等により気象庁のナウキャストなどリアルタイムの雨量情報を確認すること。
- 今後、土砂災害防止法に基づく緊急調査により発表される情報についても注意して下さい。



## 御嶽山の噴火による被害状況等について（第2報）

## 1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	9月27日	12:36	注意体制				
		13:45	非常体制				
関東地方整備局	9月27日	14:00	注意体制	北陸信越運輸局	9月27日	12:50	注意体制
中部地方整備局	9月27日	12:36	警戒体制	中部運輸局	9月27日	15:00	注意体制
		14:45	非常体制				
国土地理院	9月27日	12:36	注意体制	気象庁	9月27日	12:36	警戒体制
		13:45	非常体制			17:00	非常体制

## 2. 噴火の概要

- ・ 9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を3キロメートルを超えて流れ下る噴煙を観測したため、噴火警戒レベル3（入山規制）を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。なお、火山性微動が継続していることから現在も噴火が継続していると推測される。
- ・ 御嶽山で噴火が発生したのは2007年（平成19年）3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと。
- ・ 9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。

## 【噴火警報の発表状況等】

- 9月27日12:36 噴火警報発表（火口周辺警報）  
噴火警戒レベル1（平常） → レベル3（入山規制）  
※噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。
- 対象市町村等
  - ・ 長野県：王滝村、木曾町
  - ・ 岐阜県：高山市、下呂市
- 防災上の警戒事項
  - ・ 火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒が必要
  - ・ 風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要
  - ・ 爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要
- 9月27日13時35分 ~ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示

## 3. 気象の見通し

- ・ 今日28日07時現在、御嶽山の上空約3000メートルでは、5メートル程度の北よりの風が吹いていると見られる。今日28日は、夜まで、1~3メートル程度の北よりの風が続く見込み。
- ・ 長野県南部、岐阜県飛騨地方の天気は、今日28日、明日29日共に、高気圧に緩やかに覆われて概ね晴れるが、朝晩は湿った空気の影響で雲が多い見込み。

#### 4. 国土交通省の対応

- 9/27 14:25 大臣防災センター登庁（対策を指示）
- 9/27 14:30 気象庁記者会見
- 9/27 14:40 第1回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/27 15:20 離陸。中部へリによる調査
- 9/27 15:43 第2回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/28 10:30 御嶽山の火山活動に関する国土交通省関係局長等会議を予定

#### 【救助、下山支援】

- リエゾン（情報連絡員）の派遣
  - ・官邸リエゾンを派遣（9/27）
  - ・中部地方整備局より、長野県庁へ2名派遣（9/27）、3名派遣予定（9/28）、長野県王滝村2名（9/27～28）、長野県木曾町1名（8/27～28）、岐阜県庁へ1名派遣（9/27）、2名派遣予定（9/28）、岐阜県高山市へ2名派遣（9/27～28）、岐阜県下呂市へ2名派遣（9/27～28）。
  - ・北陸地方整備局より、岐阜県高山市へ1名派遣（9/27）。
- 専門家の派遣
  - ・国総研、土研より砂防専門家3名を派遣中

#### ○災害対策用機械等出動状況（9月28日7:00現在）

整備局名	出動先	出動理由	機械名	台数	状況	期間
中部地整	長野県木曾郡王滝村（田ノ原駐車場）	下山者支援、自衛隊等救助支援	照明車	2	稼働中	9月27日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町（黒沢登山口）	下山者支援	照明車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	長野県木曾郡開田村（開田登山口）	下山者支援	照明車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	岐阜県下呂市小坂町（濁河温泉登山口）	下山者支援、自衛隊等救助支援	照明車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町（町道鹿ノ瀬線）	降灰清掃	路面清掃車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町（開田高原保険休養地内町道）	降灰清掃	路面清掃車	2	稼働中	9月27日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町（開田高原保険休養地内町道）	降灰清掃	散水車	2	稼働中	9月27日～
中部地整	長野県木曾郡木曾町日義小沢（木曾維持出張所）	降灰清掃	散水車	1	待機中	9月27日～
中部地整	長野県木曾郡王滝村（八海山登山口）	現地情報収集	衛星通信車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	岐阜県下呂市小坂町（濁河温泉登山口）	現地情報収集	衛星通信車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	長野県木曾郡王滝村 王滝村役場	映像配信	Ku-SAT	1	稼働中	9月28日～

・9/27 19:10より<sup>ニゴリゴ</sup>濁河温泉（下呂市側）の下山道にて国交省の照明車両による徒歩下山者支援を実施。

・9/28 3:00時点で照明車両5台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働中。

・木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車3台、散水車2台で実施中。

・衛星通信車2台、Ku-SAT1台によりへリ画像等を通信中。

## 【二次災害防止対策】

### ○防災ヘリコプターによる被害状況調査

- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施(9/27、15:20～)。山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。
- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる砂防専門家の御嶽山上空からの緊急調査を実施(9/28、6:02～)。
- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施予定(9/28、9:30～)。

## 【その他】

- 長野県道1路線、木曾町道1路線、大滝村道1路線で入山規制に伴う事前通行規制を実施
- 気象庁発表の火山灰情報に基づき航空情報(ノータム)を発行(27日12時21分)

## 5. 気象庁の対応

- 御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。
- 噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。
- 気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施(長野地方気象台：9月27日13時55分～、気象庁：9月27日15時40分～)
- 火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)
- 長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象支援資料を提供(9月28日5時～ 一日2回の提供)

## 6. 国土地理院の対応

- ・御嶽山の被害状況把握のため、空中写真撮影準備中(9月27日)

## 7. 一般被害の状況

- 複数の入山者あり。噴石による重傷者もいる模様。山小屋に避難している人もいる模様。(14:30時点報道情報)
- 7名意識不明。8人大けが。(17:00政府発表)
- 消防庁情報(9月28日6:30現在)
  - ・人的被害
    - 長野県：重症 10人、中等症 4人、軽症 13人、行方不明者 32人
    - ※負傷者は、病院に搬送された者のほか、山小屋や下山者等から収集した情報を基に集計したものであり、行方不明者は、安否の確認を求められた人数を基に集計したものであるため、今後も変動し得る数字です。

岐阜県：重傷 2名、軽傷 5名

## 8. 所管施設等の状況

- 河川(9月28日7:00現在)
  - ・現時点で被害情報なし
- 管理ダム(9月28日7:00現在)
  - ・現時点で被害情報なし
- 道路(9月28日7:00現在)
  - ・現時点で被害情報なし
- 鉄道関係(9月28日7:00現在)
  - ・9月27日 12時55分より御嶽ロープウェイは運転休止

○航空関係（9月28日7:00現在）

- ・空港施設等被害情報なし
- ・欠航便情報2便（ジェットスター）

○自動車関係（9月28日7:00現在）

- ・おんたけ交通 バス2路線運休中

○海事関係（9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○物流関係（9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○下水道（9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○公園（9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○宅地（9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○公営住宅関連等（9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○官庁施設（9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

○観光関係（9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木 代 表：03-5253-8111 内線35-822 直 通：03-5253-8461
--

# 御嶽山の噴火状況等について

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

※ 下線部は、前回からの変更箇所。

平成26年9月28日  
11時00分 現在  
内閣府

## 1 火山活動の状況（気象庁情報：9月28日7:00現在）

### (1) これまでの火山活動状況等

- ・9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を3キロメートルを超えて流れ下る噴煙を観測したため、噴火警戒レベル3（入山規制）を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。なお、火山性微動が継続していることから現在も噴火が継続していると推測される。
- ・御嶽山で噴火が発生したのは2007年（平成19年）3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと。
- ・9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。

### 【噴火警報の発表状況等】

○9月27日12:36 噴火警報発表（火口周辺警報）

噴火警戒レベル1（平常） → レベル3（入山規制）

※噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。

### ○対象市町村等

- ・長野県：王滝村、木曾町
- ・岐阜県：高山市、下呂市

### ○防災上の警戒事項

- ・火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒が必要
- ・風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要
- ・爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要

○9月27日13時35分 ～ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示

### (2) 気象の見通し

- ・28日07時現在、御嶽山の上空約3000メートルでは、5メートル程度の北よりの風が吹いていると見られる。28日は、夜まで、1～3メートル程度の北よりの風が続く見込み。
- ・長野県南部、岐阜県飛騨地方の天気は、28日、29日共に、高気圧に緩やかに覆われて概ね晴れるが、朝晩は湿った空気の影響で雲が多い見込み。

## 2 人的・住家被害の状況（消防庁情報：9月28日7:00現在）

### (1) 人的被害

#### 【長野県】

負傷者 27名（重症10名、中等症4名、軽症13名）

行方不明者 32名

※負傷者は、病院に搬送された者に加え、山小屋や下山者等から収集した情報を基に集計したものであり、行方不明者は、安否の確認を求められた人数を基に集計したものであるため、今後も変動し得る数字である。

#### 【岐阜県】

負傷者 7名（重傷2名、軽傷5名）

### (2) 住家被害

確認中

### 3 避難等の状況

#### (1) 避難等の状況（警察庁調べ：9月28日9:30現在）

- ・9月27日15:15頃、頂上山荘約100人の登山者は下山開始との情報。御嶽神社の山小屋の46人については、下山中との情報。
- ・五の池小屋の残留者については、岐阜県警察山岳警備隊等の誘導により下山を開始。
- ・これまでに、230人程度の下山を確認。（9月27日19:25現在）

### 4 その他の状況

#### (1) 道路関係（国土交通省調べ：9月28日7:00現在）

- ・現時点で被害情報なし
- ・長野県道2路線で入山規制に伴う事前通行規制を14:20から実施中

#### (2) 鉄道関係（国土交通省調べ：9月28日7:00現在）

- ・御嶽ロープウェイは運転休止（9月27日12:55）。

#### (3) 文教施設関係（文部科学省調べ：9月27日19:00現在）

- ・現時点において、被害情報なし

#### (4) その他

##### (7) DMATの活動状況（厚生労働省調べ：9月28日9:00現在）

長野県側（計27チーム）		岐阜県側	
長野県DMAT調整本部（長野県庁）	1チーム	・ 濁河温泉登山口	1チーム
長野県立木曽病院	9チーム		
信州大学医学部附属病院	13チーム		
諏訪赤十字病院	1チーム		
黒沢口中ノ湯パーキング	1チーム		
黒沢口御岳ロープウェイ口	1チーム		
黒沢口八海山5合目	1チーム		

### 5 政府の主な対応

#### (1) 官邸の対応

- ・情報連絡室を設置（9月27日13:23）
- ・官邸連絡室へ改組（9月27日14:30）

#### (2) 総理指示

- ・御嶽山の火山活動に関し、安倍内閣総理大臣から以下の指示が発せられた。（9月27日14:30）

1. 早急に被災状況の把握を行うこと
2. 被災者の救助に総力を挙げるとともに、避難誘導等登山者や住民の安全の確保に万全を期すこと
3. 火山の観測を強化し、登山者及び住民に対する迅速的確な情報提供を行うこと

#### (3) 関係省庁災害対策会議等の開催

- ・御嶽山噴火に係る関係省庁担当者会議を開催（9月27日15:00）
- ・山谷内閣府特命担当大臣（防災）、松本内閣府大臣政務官出席のもと、関係省庁災害対策会議を開催し、今後の活動の見通し及び被害状況並びに各省庁の対応状況について情報共有を行った（9月27日16:40）
- ・関係閣僚会議を開催（9月27日）
- ・関係省庁関係局長級会議を開催（9月27日19:28）

#### (4) 自衛隊の災害派遣

##### ① 概要

- ・要請日時 平成 26 年 9 月 27 日 14:31
- ・要請元 長野県知事
- ・要請先 陸上自衛隊第 13 普通科連隊長（松本）
- ・要請の概要 人命救助
- ・発生場所 長野県御嶽山

##### ② 活動規模

- ・人員 約 250 名
- ・車両 約 70 両
- ・航空機 7 機

#### (5) 災害救助法の適用

- ・平成26年9月27日の御嶽山噴火により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としているため。  
長野県：木曾郡木曾町（きそぐんきそまち）（8月17日適用）  
木曾郡王滝村（きそぐんおうたきむら）（8月17日適用）

## 6 各府省庁の対応

### (1) 内閣府の対応

- ・情報対策室を設置（9月27日 12:36）
- ・内閣府参事官を団長とする情報先遣チーム（団長以下3名）を長野県へ派遣（9月27日）

### (2) 警察庁の対応

- ・災害情報連絡室設置（9月27日 13:23）
  - ・災害警備連絡室へ改組（9月27日 14:30）
- 【警察措置】  
（9月27日）
- ・長野県警がヘリにより情報収集
  - ・長野県警察機動隊 12 人出動（9月27日 13:55）
  - ・長野県警察管区機動隊員約 70 人出動（9月27日 14:17）
  - ・長野県警察機動隊、管区機動隊は登山口の黒沢口、王滝口、開田口で各 10 人が待機
  - ・岐阜県警察山岳警備隊 3 人は登山客等とともに五の池小屋に残留
  - ・長野県警察は、警察本部及び木曾警察署に登山者に関する情報・相談フリーダイヤルを設置。（県警本部：0120-008-046、木曾警察署：0120-007-285）
  - ・岐阜県警察は、相談ダイヤルで情報を受付。（県警本部：058-271-2424、下呂署：0576-52-0110、高山署：0577-32-0110）
  - ・現地指揮所を田の原観光センターに設置。

（9月28日）

- ・長野県警察は、7:40 から、黒沢口 16 人が消防及び自衛隊とともに登頂を開始。今後王滝口からも 27 人が登頂予定。到着後、救助活動を実施。
- ・岐阜県警察は、4:30 から山岳警備隊等 11 人が市職員 14 人及び DMAT2 人とともに登頂し、救助活動を実施。また、総勢 80 人体制で災害警備活動を実施。
- ・岐阜県警察が、ヘリにて五の池小屋かた下山中の 40 歳女性を救助活動を実施。

### (3) 消防庁の対応

- ・災害対策室設置（9月27日 14:30）
- ・消防組織法第 44 条第 1 項に基づき、消防庁長官から火山性ガス検知資機材（LCD3.3）を保

有する高度救助隊及び山岳救助隊について、愛知県、静岡県、東京都、山梨県の4都県に対して出動要請（9月28日20:30）

- ・ 緊急消防援助隊の活動調整等のため、消防庁職員1名を長野県に派遣（9月28日6:00）

**【消防機関の活動】**

＜＜地元消防機関の活動状況＞＞

長野県： 木曾広域消防本部が約60名体制で活動。

木曾町消防団及び王滝村消防団が約20名体制で活動

岐阜県： 下呂市消防本部が約20名体制で活動。

下呂市消防団幹部が下呂市災害対策本部で活動

＜＜県内応援消防本部の活動状況＞＞

長野県： 県内13本部（木曾広域消防本部を除くすべての消防本部）が約100名体制で活動。

岐阜県： 岐阜市消防本部及び高山市消防本部が約10名体制で活動。

＜＜緊急消防援助隊＞＞

- ・ 9月27日20時30分、長野県知事から消防庁長官に対して、緊急消防援助隊の派遣要請。
- ・ ただちに消防組織法第44条第1項に基づき、消防庁長官から火山性ガス検知資機材（LCD3.3）を保有する高度救助隊及び山岳救助隊について、愛知県、静岡県、東京都及び山梨県の4都県に対して、出動要請。

- ・ 愛知県、静岡県、東京都及び山梨県の各隊合計約200名体制で活動。

（内訳）東京都隊約60名、山梨県約50名、静岡県隊約40名、愛知県約50名  
（参考）

指揮支援隊として、長野県庁で東京都隊1隊3名、木曾広域消防本部で愛知県隊1隊5名が活動。陸上隊は、進出拠点（道の駅 木曾市場）に28日4時に到着した後、各災害現場において活動。

- ・ 28日6時半から東京都航空隊（消防庁ヘリ/ヘリサット搭載）が情報収集活動を実施予定。

**(4) 国土交通省の対応**

○リエゾンの派遣

- ・ 中部地方整備局より、長野県庁へ2名派遣(9/27)、3名派遣予定(9/28)、長野県王滝村2名(9/27~28)、長野県木曾町1名(8/27~28)、岐阜県庁へ1名派遣(9/27)、2名派遣予定(9/28)、岐阜県高山市へ2名派遣(9/27~28)、岐阜県下呂市へ2名派遣(9/27~28)。
- ・ 北陸地方整備局より、岐阜県高山市へ1名派遣(9/27)。

○専門家の派遣

- ・ 国総研、土研より砂防専門家3名を派遣中

○災害対策用機械等出動状況

整備局名	出動理由	機械名	台数	状況	期間
中部地整	下山者支援、自衛隊等救助支援	照明車	2	稼働中	9月27日～
中部地整	下山者支援	照明車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	下山者支援	照明車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	下山者支援、自衛隊等救助支援	照明車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	降灰清掃	路面清掃車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	降灰清掃	路面清掃車	2	稼働中	9月27日～
中部地整	降灰清掃	散水車	2	稼働中	9月27日～
中部地整	降灰清掃	散水車	1	待機中	9月27日～
中部地整	現地情報収集	衛星通信車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	現地情報収集	衛星通信車	1	稼働中	9月27日～
中部地整	映像配信	Ku-SAT	1	稼働中	9月28日～

- ・ 9/27 19:10より濁河温泉（下呂市側）の下山道にて国交省の照明車両による徒歩下山者支援を実施。

- ・ 9/28 3:00時点で照明車両5台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働中。



- ・ 木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車3台、散水車2台で実施中。
- ・ 衛生通信車2台、Ku-SAT1台によりヘリ画像等を通信中。

#### ○二次災害防止対策

- ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施(9/27、15:20～)。  
山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。
- ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる砂防専門家の御嶽山上空からの緊急調査を実施(9/28、6:02～)。
- ・ 中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施予定(9/28、9:30～)。

#### ○その他

- ・ 長野県道1路線、木曾町道1路線、大滝村道1路線で入山規制に伴う事前通行規制を実施中
- ・ 気象庁発表の火山灰情報に基づき航空情報(ノータム)を発行(27日12時21分)

### (5) 文部科学省の対応

- ・ 災害情報連絡室設置(9月27日16:40)
- ・ 関係県教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保と文教施設の被害状況の把握、二次災害防止を要請(9月27日17:50)

### (6) 気象庁の対応

- ・ 御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。
- ・ 噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。
- ・ 気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施(長野地方気象台:9月27日13時55分～、気象庁:9月27日15時40分～)
- ・ 火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)
- ・ 長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象支援資料を提供(9月28日5時～ 一日2回の提供)